

| No | 名称                    | 所在地      | 建設年代                      | 特徴など   | 種別       | 基準 |
|----|-----------------------|----------|---------------------------|--|----------|----|
| 1  | 根室国後間海底電信線陸揚(りくあげ)施設  | 北海道根室市   | S10頃                      | 根室と国後島を繋ぐ通信用海底ケーブルの陸揚施設。南面し、鉄筋コンクリート造平屋建てで正面中央を開口として半円柱を立てる。前方に門柱付設。国後島との繋がりを示す遺構。   | 建築物 交通   | 1  |
| 2  | 齋藤子爵水沢文庫図書館           | 岩手県奥州市   | S7/同10増築                  | 水沢要害(ようがい)の南西に位置。第三〇代総理大臣斎藤實が水沢城下生家跡に建てた私設図書館で海軍技師の設計による。図書館は鉄骨鉄筋コンクリート造二階建て、外壁をイギリス積風煉瓦(れんが)張り、腰は石貼りとする。閲覧所は木造平屋建て棧瓦(さんがわら)葺き。水回りなど自邸としての設備も有する。郷土の子弟の閲覧を目的とした施設。   | 建築物 文化福祉 | 2  |
| 3  | 齋藤子爵水沢文庫図書館閲覧所        |          | S7                        |  | 建築物 文化福祉 | 2  |
| 4  | 旧東北帝国大学理学部生物学教室       | 宮城県仙台市   | T13/H7・R元改修               | 東北帝国大学発祥地の片平地区に位置する校舎群。旧制第二高等学校及び旧仙台高等工業学校の建物とともに一連で残る。旧東北帝国大学理学部生物学教室は鋭角な敷地にV字形平面を持つ鉄筋コンクリート造三階建て校舎。プロポーションと細部装飾にバランスが取れた逸品。旧東北帝国大学法文学部第二研究室は、鉄筋コンクリート造三階建て。窓枠を煉瓦で縁取るなどアクセントを付けた愛らしい校舎。旧東北帝国大学工学部機械学及び電気学教室は、鉄筋コンクリート造地上三階地下一階建て。正面中央は玄関を突出させアーチを付し、装飾を集中して意匠を凝らす。工学部機械学及び電気学実験室は、鉄筋コンクリート造二階建て。上下二層の色使いが目立つ意匠平明な分館。旧仙台高等工業学校建築学科棟は、鉄筋コンクリート造三階建て。スクラッチタイル貼りに横長の連続窓を開け、壁面を張出すバウハウス校舎風の外観。本多記念館は、鉄筋コンクリート造地上三階地下一階建て。柱形が強調されたタイル貼の外壁に矩形窓を並べる。玄関車寄から前方に張り出す大キャノピーが目を引く。旧制第二高等学校正門は化粧煉瓦積角柱の上部に四角錐の笠石を載せる。移転を重ねたが、ほぼ当初位置に旧観を取り戻した。旧東北帝国大学正門(東北大学正門)は、鉄筋コンクリート造御影石(みかげいし)張りの角柱にペン先状の三角形の柱頭を載せる。南本柱に東北大学の門標を付し、帝大の景観を留める。 | 建築物 学校   | 2  |
| 5  | 旧東北帝国大学法文学部第二研究室      |          | S2/H16改修                  |  | 建築物 学校   | 2  |
| 6  | 旧東北帝国大学工学部機械学及び電気学教室  |          | S5/H19改修                  |  | 建築物 学校   | 1  |
| 7  | 旧東北帝国大学工学部機械学及び電気学実験室 |          | S4/H25改修                  |  | 建築物 学校   | 1  |
| 8  | 旧仙台高等工業学校建築学科棟        |          | S5/H26改修                  |  | 建築物 学校   | 2  |
| 9  | 本多記念館                 |          | S16/H6改修                  |  | 建築物 学校   | 1  |
| 10 | 旧制第二高等学校正門            |          | M22頃/S11・同20・同25・同43、H8移築 |  | 工作物 学校   | 1  |
| 11 | 旧東北帝国大学正門(東北大学正門)     |          | T15/S40代改修                |  | 工作物 学校   | 1  |
| 12 | 東北学院大学正門              | 宮城県仙台市   | T15/S60改修                 | 敷地北辺中央に位置。鉄筋コンクリート造洗出しに目地を切って石張りにみせる。脇門はコーニスやデンティルで飾り、十字架にT、Gを重ねた校章を付す。歴史ある私学の表構えを形成。  | 工作物 学校   | 1  |
| 13 | 男山本店酒造蔵               | 宮城県気仙沼市  | T3頃/同9増築・S4頃改修            | 気仙沼湾最奥の内湾地区に位置。木造一部土蔵造り棧瓦葺き。内部は東から三号蔵、仕込蔵、中蔵が並び、三棟を一体化した大きな外観は、醸造施設の景観を印象付ける。  | 建築物 産業2次 | 1  |
| 14 | 孝子堂                   | 宮城県白石市   | T15                       | 歌舞伎の仇討ち演目である白石斬(しろいしげなし)ゆかりの小堂。方一間宝形(ほうぎょう)造り銅板葺き向拝(ごはい)付。文人や花柳界の信仰を集めた。   | 建築物 宗教   | 1  |
| 15 | 竹駒神社馬事博物館             | 宮城県岩沼市   | S13                       | 竹駒神社境内に位置。基礎及び床を鉄筋コンクリート造、上部を木造とした平屋建て寄棟造り銅板葺き。和風の細部意匠を持つ。日本趣味が横溢する馬専門博物館。   | 建築物 文化福祉 | 2  |
| 16 | 鈴善店舗                  | 福島県会津若松市 | S初期                       | 若松城下の商家町に位置。鈴木家は、代々漆器業を生業とした会津若松有数の漆器問屋。三之町通りに北面し、西から蔵座敷、店舗、荷造り蔵がならぶ。店舗の南に中座敷、貯蔵蔵。荷造り蔵の南に物置蔵、米炭蔵が建つ。店舗は、木造二階建て寄棟造り棧瓦葺きで、外壁は石張り風に見せる人造石洗出(あらいだし)仕上げ。端正な洋風意匠の外観を見せる。蔵座敷は土蔵造り二階建てで、漆喰(しっくい)で鉢巻(はちまき)まで塗込め、道路側の腰はスクラッチタイルを貼る。中座敷は八畳と一〇畳の座敷を廻廊でつなぎ、中庭をつくる。床の間等に数寄屋(すきや)意匠を取り入れる。貯蔵蔵を始めとした土蔵群は家業の隆盛を今に伝え、城下の歴史的景観の一面を形成する。   | 建築物 産業2次 | 1  |
| 17 | 鈴善蔵座敷                 |          | S4                        |  | 建築物 産業2次 | 1  |
| 18 | 鈴善中座敷                 |          | S4                        |  | 建築物 産業2次 | 1  |
| 19 | 鈴善貯蔵蔵                 |          | T8                        |  | 建築物 産業2次 | 1  |
| 20 | 鈴善米炭蔵                 |          | T11                       |  | 建築物 産業2次 | 1  |
| 21 | 鈴善物置蔵                 |          | E末期/S13頃移築                |  | 建築物 産業2次 | 1  |
| 22 | 鈴善荷造り蔵                |          | S初期                       |  | 建築物 産業2次 | 1  |

| No | 名称            | 所在地     | 建設年代        | 特徴など   | 種別  | 基準   |   |
|----|---------------|---------|-------------|--|-----|------|---|
| 23 | 旧甲斐家住宅主屋      | 福島県喜多方市 | T12         | 田付川(たづきかわ)西岸の小荒井(こあらい)に位置。甲斐家は味噌や醤油の醸造業を営んだ喜多方有数の商家。敷地中央に主屋を構え、南西に味噌蔵及び麹蔵、南に稲荷社が建つ。表門を通り東面して開き、裏門は味噌蔵の北に開く。東塀及び北塀、南塀が敷地周囲を区画する。主屋は、切妻造り棧瓦葺きの背の高い木造平屋建て。中廊下の南側に玄関や帳場、北側に座敷を並べ、豪商に相応しい広大な主屋。味噌蔵及び麹蔵は切妻造り棧瓦葺き。味噌蔵は二階建てで窓が多く、麹蔵は平屋建てで窓は少なく、窓廻(まわり)に洋風意匠を凝らす。稲荷社は一間社流(ながれ)造りで、小規模ながら正統的なつくり。表門は木太い薬医門(やくいもん)で、門扉は樺の一枚板を嵌める。裏門は薬医門で軒廻りを格天井(ごうてんじょう)等で瀟洒(しょうしゃ)に整える。東塀及び北塀、南塀はいずれも煉瓦塀(れんがべい)で、喜多方の市街地の歴史的景観を形成する。                     | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 24 | 旧甲斐家住宅味噌蔵及び麹蔵 |         | M後期         |  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 25 | 旧甲斐家住宅稲荷社     |         | T後期         |  | 建築物 | 産業2次 | 2 |
| 26 | 旧甲斐家住宅表門      |         | T後期         |  | 工作物 | 産業2次 | 1 |
| 27 | 旧甲斐家住宅裏門      |         | T後期         |  | 工作物 | 産業2次 | 1 |
| 28 | 旧甲斐家住宅東塀及び北塀  |         | T後期         |  | 工作物 | 産業2次 | 1 |
| 29 | 旧甲斐家住宅南塀      |         | T後期         |  | 工作物 | 産業2次 | 1 |
| 30 | 笹正宗酒造店舗兼主屋    | 福島県喜多方市 | M前期/T10改修   | 喜多方北部の上三宮(かみさんみや)に位置。笹正宗酒造は、文政創業の酒造業を営む酒造り酒屋。広大な敷地の北東部に店舗兼主屋及び文庫蔵を建て、敷地北辺に正門を開ける。敷地東半は醸造施設を置き、東の糟蔵(ふなぐら)から時計回りに仕込蔵、配蔵(もとぐら)、貯蔵庫を並べ、全体を歩廊となる下屋でつなぐ。店舗兼主屋は木造二階建て、神棚を掲げるミセの吹抜けが壮大。配蔵は土蔵造り二階建て、南を寄棟、北を切妻の棧瓦葺き。仕込蔵は土蔵造り平屋建て。水仕事を行うため各面に窓を設けて換気に配慮し、酒造りの様相をよく伝える。貯蔵庫は長大な土蔵造り二階建てで、一階は貯蔵タンクが並び酒造量の多さを物語る。文庫蔵は主屋と渡廊下で繋がり家財蔵として使う。妻面(つまめん)の屋号と長大な片開き塗戸が、当家の象徴となっている。稲荷社は一間社流(ながれ)造り銅板葺きの小社で小規模ながら丁寧なつくり。通りに面した正門及び塀は伝統ある造り酒屋に相応しい景観を成す。 | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 31 | 笹正宗酒造配蔵(もとぐら) |         | T14頃/H23改修  |  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 32 | 笹正宗酒造仕込蔵      |         | T6頃         |  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 33 | 笹正宗酒造糟蔵(ふなぐら) |         | T6          |  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 34 | 笹正宗酒造貯蔵庫      |         | T14         |  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 35 | 笹正宗酒造文庫蔵      |         | T6/同10改修    |  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 36 | 笹正宗酒造稲荷社      |         | M19         |  | 建築物 | 産業2次 | 2 |
| 37 | 笹正宗酒造正門及び塀    | S2頃     | 工作物         | 産業2次   | 1   |      |   |
| 38 | 若喜商店醸造場       | 福島県喜多方市 | M後期         | 喜多方中心部に位置する味噌及び醤油の醸造元。醸造場は木造二階建て、切妻造り棧瓦葺き。梁間五間半にトラスを架けた大空間の醸造場で一連の醸造施設の中核をなす。作業蔵は、桁行が長く、東側は瓶詰作業場、西側は出荷倉庫で妻面に出入口を開く。醸造業を営む商家の屋敷構えの一面をなす。  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 39 | 若喜商店作業蔵       |         | M後期         |  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 40 | 山縣有朋記念館別館     | 栃木県矢板市  | S2頃/H元改修    | 山縣有朋が拓いた農場に所在。二階建て寄棟造り棧瓦葺きで、内部のリビングは出窓や暖炉を備え、格式備えた洋室。広大な農場に建つ瀟洒(しょうしゃ)な洋館。   | 建築物 | 文化福祉 | 2 |
| 41 | 町田清家住宅主屋      | 群馬県伊勢崎市 | M20頃/同27頃改修 | 島村南東部に位置。二階建て切妻造り棧瓦葺き。二階南面は出桁(だしげだ)で、開口を掃出しとし、かつて手摺を付した。明治中期らしい特徴を持ち、蚕種製造民家の変遷を示す。   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 42 | 須田家住宅(中屋)土蔵   | 埼玉県草加市  | M後期/H28改修   | 旧日光街道草加宿(そうかしゆく)の商家の土蔵。土蔵造り二階建て、切妻造り棧瓦葺きで、南面に下屋を付して掛子塗(かけごもり)の両開き土戸を建てる。染料商いによる繁栄を示す。  | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 43 | 久野家住宅店舗       | 埼玉県草加市  | E末期/H23改修   | 旧草加宿の北端で街道に東面する元商家。二階の軒先を出桁造(だしげたづくり)とする。正面に摺上戸の痕跡を残すなど、宿場町の面影を良く伝える町家。  | 建築物 | 住宅   | 1 |

| No | 名称                   | 所在地     | 建設年代                  | 特徴など  | 種別  | 基準   |   |
|----|----------------------|---------|-----------------------|---|-----|------|---|
| 44 | 旧中村家住宅主屋             | 埼玉県越谷市  | T3/H15改修              | 越谷市南端の大間野(おおまの)町に位置。中村家は旧大間野村の名主(なぬし)を務めた旧家。敷地中央北寄りに主屋が南面して建ち、北に納屋と土蔵、南に石蔵、西に御嶽社(みたけしゃ)、敷地南辺に長屋門を配す。主屋は平屋建て寄棟造り棧瓦葺き。四周に下屋を廻し、南面西端に入母屋(いりもや)造りの式台を付す。旧家の興隆を伝える上質な近代の主屋。納屋は木造平屋建て切妻造り棧瓦葺き。土蔵は二階建て切妻造り棧瓦葺きで、一階床は大引(おおびき)上端を床板と同一面に現す特徴的なつくり。石蔵は切妻造り棧瓦葺き。外壁は石造で軒廻りの蛇腹まで石を丁寧に積み上げる。御嶽社は、覆屋(おおいや)を附属し、本体は随所に彫刻を施し小社ながら精緻(せいち)な造り。長屋門は平屋建て寄棟造り棧瓦葺きで、門口に銕金具(かざりかなぐ)を打った両開戸を吊り、旧家の風格を示す。 | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 45 | 旧中村家住宅納屋             |         | M21/H15改修             |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 46 | 旧中村家住宅土蔵             |         | M27/H13改修             |   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 47 | 旧中村家住宅石蔵             |         | S前期/H13改修             |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 48 | 旧中村家住宅御嶽社(みたけしゃ)     |         | T前期                   |   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 49 | 旧中村家住宅長屋門            |         | M19/H15改修             |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 50 | 式場隆三郎(しきばりゆうざぶろう)家住宅 | 千葉県市川市  | S14/同58頃改修            | 市川市国府台(こうのだい)に位置。二階建て切妻造り棧瓦葺きの主体部東西に平屋を接続。設計は柳宗悦、濱田庄司、現場監理は河井寛次郎で、東西の様式が融合する民藝の意匠が色濃く顕れた住宅。   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 51 | 野田市立中央小学校3年館         | 千葉県野田市  | S3                    | 野田市初の鉄筋コンクリート造の小学校校舎。敷地の北辺に7年館、西辺の3年館をたて、L字型の平面をなす。3年館は長大な三階建て。三階まで柱形を立上げ柱頭に野田醤油の亀甲紋(きっこうもん)を象(かたど)る。7年館は鉄筋コンクリート造三階建て。外壁は一階から三階までドイツ壁風仕上げで柱形を付し、3年館を踏襲しつつ細部意匠に違いを見せる。正門は流山(ながれやま)街道に面して建ち、歴史ある小学校の表構えを形成。  | 建築物 | 学校   | 2 |
| 52 | 野田市立中央小学校7年館         |         | S7                    |   | 建築物 | 学校   | 2 |
| 53 | 野田市立中央小学校旧正門         |         | T6                    |   | 工作物 | 学校   | 1 |
| 54 | 根本家住宅主屋              | 千葉県我孫子市 | E末期/M34、S50改修         | 利根川と手賀沼(てがぬま)に挟まれた台地に位置。根本家は都部(いちぶ)村の名主を務めた旧家。南北に長い敷地中央に主屋を東面して建て、東に北倉、南倉をならべ、南に屋敷社を配す。主屋は木造平屋建て、寄棟造り棧瓦葺き。北は土間、南は床上部で南列に三間続きの座敷を並べて前面に式台玄関を付す。千葉の上層農家の形式を遺す大型民家。北倉と南倉は、いずれも木造二階建て、切妻造り棧瓦葺き。外壁は真壁造り漆喰塗仕上げで腰は下見板張り。屋敷社は一間社流造り銅板葺き。棟積が高く巴紋を三箇所付し、鬼板も大振り。小規模だが丁寧な造り。  | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 55 | 根本家住宅北倉              |         | M33                   |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 56 | 根本家住宅南倉              |         | 慶応3(1867)             |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 57 | 根本家住宅屋敷社             |         | M後期                   |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 58 | 今井家住宅蔵               | 東京都文京区  | S13頃                  | 本郷通り西側住宅地に所在する鉄筋コンクリート造地上二階地下一階。切妻造り棧瓦葺きの土蔵意匠の建物。地下はガラスブロックで自然光を取入れる。都市住宅の近代的倉庫建築。  | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 59 | 日本基督教団弓町本郷教会         | 東京都文京区  | T15/S28・同44・同61、H25改修 | 文京区の市街地に建つ教会。設計者中村鎮(まもる)が開発した中村式鉄筋コンクリートブロック構造による四階建ての建築で、当時数多く開発された特殊ブロック造建築の優品の一つ。  | 建築物 | 宗教   | 3 |
| 60 | 寛永寺根本中堂              | 東京都台東区  | M12/S60改修             | 上野寛永寺に残る大規模堂宇と書院。根本中堂は境内南西に建つ入母屋造りの本瓦葺き。川越喜多院の本地堂を明治一二年に移築したものと伝わる根本中堂の形式の本格的な天台宗寺院本堂。葵の間は主座敷の床の南に下地窓(したじまど)、床脇は地袋棚(じぶくろだな)とし、教寄屋(すきや)風を加味した上質な座敷。  | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 61 | 寛永寺葵の間               |         | E末期/T3・H25移築          |   | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 62 | 観音寺客殿                | 東京都台東区  | E後期                   | 境内中央の本堂南に並ぶ寄棟造りの南北棟で、東に切妻屋根に霧除庇を廻した玄関を突出、内玄関は唐破風庇がつく。端正な意匠の寺院殿舎。  | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 63 | 茶寮一松店舗及び住居           | 東京都台東区  | S35/R2改修              | 浅草雷門通りの一筋南に位置する料亭。店舗及び住居は、敷地南の前庭を囲むL字形平面で、入隅を玄関、南面して座敷を並べ、北西を住居部とする。二階は三間続きの大広間を配し、随所に銘木や彫刻で飾る数寄屋意匠の料亭建築。門及び塀は敷地南・東辺を区画し、門は隅切部に建つ腕木門で料亭に相応しい表構え。  | 建築物 | 産業3次 | 2 |
| 64 | 茶寮一松表門及び塀            |         | S35                   |   | 工作物 | 産業3次 | 1 |

| No | 名称                                | 所在地      | 建設年代           | 特徴など   | 種別  | 基準   |   |
|----|-----------------------------------|----------|----------------|--|-----|------|---|
| 65 | 沖本家住宅洋館                           | 東京都国分寺市  | S8/同15・R2改修    | 国分寺崖線(がいせん)上に建つ住宅。洋館は木造二階建て、半切妻造り金属板葺きで、外壁は下見板張り、南面二階と玄関ポーチ上部を黄土色の掻落土壁とする瀟洒な住宅。和館は洋館の東に位置し、木造平屋建て、棧瓦葺き。北を切妻、南を入母屋造り、軒浅く霧除庇を廻す。内部は、面皮(めんかわ)付や絞(しば)りの丸太を用いた教寄屋風。   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 66 | 沖本家住宅和館                           |          | S15            |  | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 67 | 本成寺本堂                             | 新潟県三条市   | M36/S32・H11改修  | 三条市街に所在する法華宗陣門(じんもん)流の総本山。境内中央北寄りに本堂が南面し、その南西に客殿、表玄関、庫裏が東面して並び、背後に大書院を接続する。本堂は、入母屋造りの本瓦型金属板葺きで、正面の三間向拝(ごはい)は唐破風を三つの懸魚(げぎょ)で飾る。優秀な彫刻を各所に飾る富山大工による壮大な本堂。客殿は入母屋造り棧瓦葺きで向拝を付す。内部は柱を減らして広く伸びやかな空間をなす。庫裏は、入母屋造り棧瓦葺きで、東正面に妻を見せ、北寄りに内玄関、南に玄関を開く。表玄関は唐破風には懸魚を三つ飾る重厚な式台玄関が境内景観を引き締める。大書院は中庭に面して一・二間半三室からなる対面の間、中庭西に一〇畳二室の内対面の間を配した落ち着いた造作の座敷。 | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 68 | 本成寺客殿                             |          | M28            |  | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 69 | 本成寺庫裏                             |          | M28/S56改修      |  | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 70 | 本成寺表玄関                            |          | M28頃/S前期・H23改修 |  | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 71 | 本成寺大書院                            |          | M32頃/H23改修     |  | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 72 | 山重(やまじゅう)本店店舗                     | 新潟県加茂市   | M後期/S38・同40改修  | 加茂山北麓から市街を見下ろす料理店。本店店舗は斜面を利用して上段の店舗棟と下段の喫茶棟の各二階が接続する。近代料亭の好例。仲町通店座敷棟はもと酒造店の住宅として建築で近代の上質な市街地住宅。山の蔵はもと酒造店の醸造蔵で桁行二〇メートルに及ぶ土蔵造り二階建て。二階は酒造用の床で仕込蔵の特徴を伝える。  | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 73 | 山重(やまじゅう)仲町通店座敷棟(旧加茂錦(かもにしき)酒造主屋) |          | S5/H20改修       |  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 74 | 山重(やまじゅう)山の蔵(旧加茂錦(かもにしき)酒造酒蔵)     |          | M後期            |  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 75 | 角屋(かどや)社屋別館                       | 新潟県十日町市  | M41/S45移築      | 本町通に東面する店舗で、二階建て切妻造り妻入。正面妻は梁と貫を現し、側面の軒はセガイ造り。吹抜けのチャノマは積雪期には高窓から採光し、豪雪地の町家の特徴をよく示す。   | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 76 | 旧藺製品(いせいひん)倉庫                     | 富山県氷見市   | T後期/S中期、H29改修  | 氷見市の市街地、湊川左岸に建つ藺製品を扱った倉庫と作業場。倉庫は土蔵造り二階建て、切妻造り棧瓦葺きで、南面に戸前を設けて東端に川からの荷揚げ口を設ける。作業場は木造二階建て、切妻造り棧瓦葺きで、外壁を下見板張りとし、西面に戸口と換気口を設ける。いずれも藺製品製造と流通の歴史を伝える。   | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 77 | 旧藺製品(いせいひん)作業場                    |          | S32/同中期、H29改修  |  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 78 | みなとがわ倉庫                           | 富山県氷見市   | T後期/S中期・H28改修  | 氷見市街地の湊川左岸に北面して建つ長大な土蔵。切妻造り棧瓦葺きで、外壁は下見板張り。北面に梁間の大きい戸前を設け東端を荷揚場とする。湊川水運の繁栄を伝える。   | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 79 | 旧野村家住宅一番蔵(城端蔵回廊)                  | 富山県南砺市   | M後期/H5改修       | 城端(じょうはな)別院門前町に所在する元呉服商の土蔵群。いずれも五色(ごしき)の石垣上に建つ。一番蔵は土蔵造り二階建て、切妻造り棧瓦葺き平入りで、造りも丁寧な豪商の旧衣裳蔵。二番蔵は一番蔵北隣の土蔵造り二階建て、切妻造り棧瓦葺き平入りで、正面の意匠は一番蔵と揃える旧道具蔵。雑蔵は一番蔵の南の土蔵造り二階建て、切妻造り棧瓦葺き、背面北寄りに下屋を付す旧雑用蔵。豪商の屋敷構えを伝える。   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 80 | 旧野村家住宅二番蔵(城端蔵回廊)                  |          | M後期/H5改修       |  | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 81 | 旧野村家住宅雑蔵(ぎつぐら)(城端蔵回廊)             |          | M後期/H5改修       |  | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 82 | 旧米谷家住宅主屋                          | 石川県小松市   | E後期/S62移築      | 海岸沿いの集落から移築した廻船(かいせん)問屋の主屋。木造平屋建て、寄棟(よせむね)造り茅葺き平入りで、土間側除く三方にこけら葺下屋。典型的な加賀地方広間型民家。  | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 83 | 旧古川屋惣兵衛住宅                         | 福井県小浜市   | 慶応元(1865)      | 旧小浜城下で廻船業を営んだ商家。木造二階建て、切妻造り棧瓦葺き平入りで、両端の袖壁から側壁を漆喰で塗込め、背面にも袖壁を備える。小浜に希少な江戸期に遡る町家。  | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 84 | 富士山元祠(げんし)                        | 山梨県富士吉田市 | M9             | 北口本宮富士浅間神社に隣設。北面し、切妻造り金属板葺きの正面に唐破風向拝、東西に下屋、南に神殿を付す。土足で祈祷を受ける富士講の形態を残す神殿兼拝所。  | 建築物 | 宗教   | 1 |

| No  | 名称        | 所在地         | 建設年代                | 特徴など   | 種別      | 基準   |     |
|-----|-----------|-------------|---------------------|--|---------|--|-----|
| 85  | 金丸家住宅土蔵   | 山梨県南アルプス市   | M33/H7・同17改修        | 駿信往還の小笠原宿(おがさわらしゅく)に所在。土蔵造り二階建て、切妻造り棧瓦葺き。壁は漆喰仕上げに水切二段を付し、道路に面した壁は腰を洗出仕上げ。旧宿場町景観を形成。  | 建築物     | 住宅   | 1   |
| 86  | 久米路橋      | 長野県長野市      | S8                  | 信濃川水系犀川(さいがわ)中流の狭窄部(きょうさくぶ)に架かる道路橋。アーチリブ等に鉄平石を貼り、鉛直材端部のハンチを曲面状に仕上げるなど丁寧な景観形成に寄与。   | 土木      | 交通   | 1   |
| 87  | 坪根堰堤      | 長野県長野市      | S27                 | 信濃川水系裾花川中流の砂防堰堤。昭和二四年キティ台風による水害後に築かれた貯砂及び洪水調節を目的とするアーチ堰堤で、今も長野市街地と周辺集落を災害から守る。   | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 88  | 牛伏川第二号堰堤  | 長野県松本市      | M19                 | 信濃川水系牛伏川(うしぶせがわ)上流に位置する砂防堰堤。牛伏川本流の堰堤と一体的に流域を守る内務省直轄堰堤で長野県下に明治期につくられた最初期の石積堰堤の一つ。二号堰堤は岩盤基礎上に造られた空石積による堰堤。堤体を緩勾配で築き、袖部と水通しの断面形状を変化させながらも、全長にわたり頂部に丸みを付け、自然に馴染んだ景観を創り出す。三号堰堤は巨石を用いて下流法勾配一割三分の緩勾配で築いた空石積の堰堤。堤高を高くとり、河床勾配の緩和を図る。四号堰堤は日影沢と泥沢の合流点の直下に位置する。長径一メートル以上の巨石を用いて緩勾配、空石積で築く。五号堰堤は二号堰堤の上流で牛伏川に合流する合清水沢に築かれる。巨石を用いて緩勾配で築いた空石積堰堤で、二号堰堤と同様の形状をもつ水通しを備える。   | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 89  | 牛伏川第三号堰堤  |             | M19                 |  | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 90  | 牛伏川第四号堰堤  |             | M20                 |  | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 91  | 牛伏川第五号堰堤  |             | M20                 |  | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 92  | 旧小澤家住宅主屋  |             | 長野県松本市              |  | T2/R2改修 | 松本と上田を結ぶ保福寺宿(ほふくじしゅく)本陣跡に位置。小澤家は代々本陣を務め、松本藩の参勤交代の休所であった。現在は宿泊施設として活用。敷地中央南寄りに主屋を建て、東に離れ、西に北土蔵及び南土蔵を配す。主屋は二階建て一部三階建て切妻造り棧瓦葺き、妻面に貫を重ねる本棟(ほんむね)造り風、妻入りの民家。本陣の格式を伝える。離れは、二階建て入母屋造り棧瓦葺きで北面に玄関、南面に下屋付属。各階ともたちが高く、ガラス戸を多用した瀟洒な近代和風。北土蔵及び南土蔵は土蔵造り二階建て。本陣の屋敷構えの面影を残す。 | 建築物 |
| 93  | 旧小澤家住宅離れ  | S初期/R2改修    |                     | 建築物  | 住宅      |  | 2   |
| 94  | 旧小澤家住宅北土蔵 | E末期         |                     | 建築物  | 住宅      |  | 1   |
| 95  | 旧小澤家住宅南土蔵 | M41         |                     | 建築物  | 住宅      |  | 1   |
| 96  | 旧松岡医院     | 長野県松本市      | T13/H29改修           | 松本城下に位置。木造二階建て、寄棟造り棧瓦葺き。パラペットを立上げモルタルに目地を切り、石造にみせ、縦長上下窓を並べ、幾何学装飾を付す。装飾を凝らした洋風医院兼住宅。  | 建築物     | 文化福祉   | 2   |
| 97  | 横湯川第一号堰堤  | 長野県下高井郡山ノ内町 | S13                 | 信濃川水系夜間瀬川(よませがわ)に合流する横湯川(よこゆがわ)に築かれた重力式コンクリート造の砂防堰堤。土石流災害の常襲地帯であった川沿いの集落・温泉街を守るため、内務省事業を引き継ぎ県が整備。一号堰堤は練石積による重力式コンクリート造堰堤。二号堰堤は大きさの揃った玉石を丁寧に積上げて築いた堤高を抑えた構造物で、流路工の一部をなす。三号堰堤は川の右岸に広がる渋温泉の起点となる黒川橋の直下に築かれ、温泉街の昭和期以降の発展の礎をなす。五号堰堤は、不揃いの自然石を表面に築く重力式コンクリート造堰堤。内務省の横湯川砂防工事において、人家の集中する和合橋周辺に優先的に整備された四堰堤のうちの一つ。横湯川堰堤は、内務省施工の堰堤の間に整備され、河床安定の充実を図る。堤体の右岸側袖部に用水路が穿たれた、利水機能も併せ持つ。三九号堰堤は下流面に一段低い堤体を一体的に築く重力式コンクリート造堰堤。急勾配による乱流の防止と土砂拵止の機能を有する堰堤群の中でも、堅固なつくりとする。五〇号堰堤は水通し幅を狭め、両肩を切石の算木積で急勾配に築く形状が特徴的。温泉街の中心である和合橋と一体的に、近代河川景観を創り出す。五七号堰堤は、自然石を用いて築き、今なお防災機能を発揮している。 | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 98  | 横湯川第二号堰堤  |             | S12                 |  | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 99  | 横湯川第三号堰堤  |             | S11                 |  | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 100 | 横湯川第五号堰堤  |             | T14/S7改修            |  | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 101 | 横湯川堰堤     |             | S19                 |  | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 102 | 横湯川第三九号堰堤 |             | T13                 |  | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 103 | 横湯川第五〇号堰堤 |             | T14                 |  | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 104 | 横湯川第五七号堰堤 |             | S2                  |  | 土木      | 治山治水   | 1   |
| 105 | 行善寺本堂     | 長野県上水内郡信濃町  | 文政13(1830)/S51・R2改修 | 北国街道古間宿(ふるまじゅく)に位置。元茅葺きの入母屋造りで、三間向拝(ごはい)を付す。軒は斜めの出梁に天井を張り木負を受け化粧軒を出す。宿場町に建つ近世に遡る真宗寺院。  | 建築物     | 宗教   | 1   |
| 106 | 旧須田歯科医院   | 岐阜県高山市      | T後期                 | 高山市街江名子川(えなこがわ)右岸に建つ医院兼住宅。木造二階建て、寄棟造り平入りで、東面中央を玄関として張り出す。町家の並ぶ高山にあって、大正期の洋風志向を示す。  | 建築物     | 文化福祉   | 1   |

| No  | 名称                      | 所在地       | 建設年代                | 特徴など   | 種別  | 基準   |   |
|-----|-------------------------|-----------|---------------------|--|-----|------|---|
| 107 | 旧岡田酒店店舗兼主屋              | 岐阜県揖斐郡大野町 | T6                  | 揖斐川(いびがわ)支流に挟まれた相羽(あいば)集落の川沿いに建つ。二階建て、入母屋造り<br>棧瓦葺きで道沿いに店舗入口を開き、酒を小売した店庭が土間の一角にある店舗兼主屋。  | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 108 | 高林家住宅馬小屋                | 静岡県浜松市    | M39頃                | 旧有玉下(ありたましも)村に位置。高林家は代々庄屋を務めた地元有数の豪農。屋敷林に囲<br>まれた敷地の中央に南北に並ぶ主屋など主要建物は登録済。敷地東側に南から北に馬小屋<br>及び堆肥小屋、男衆部屋、味噌倉及び米倉が建ち、北西隅に地の神社が位置する。平常門及<br>び塀と平門及び塀が敷地南東部を区画する。内塀は主屋東側の庭を囲み、外塀は主屋等の中<br>心区画を囲んで屋敷林を区切る。馬小屋及び堆肥小屋はいずれも、木造平屋建て、切妻造り<br>棧瓦葺きで往時の暮らしぶりを今に伝える。男衆部屋は長屋門等の表側区画と主屋の区画の<br>境に建ち、両区画を見渡す役割が窺える。味噌倉及び米倉は切妻造り棧瓦葺き。壁は真壁造<br>板張で、西に下屋の廊下、東に庇を設けて材木を置く。地の神社は切妻造り棧瓦葺き平入り。<br>霊神・宅主神・稻荷神の三社を置く。内塀は一四代当主高林兵衛(ひょうえ)自ら考案したと伝<br>わる山型に折れた棧瓦を葺き、コンクリート柱の板塀として全体に黒色塗りとする特色ある意匠。<br>平常門及び塀、平門及び塀とともに地域を代表する篤農家の屋敷構えを今に伝える。 | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 109 | 高林家住宅堆肥小屋               |           | M39頃                |  | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 110 | 高林家住宅男衆部屋               |           | M39頃/S6頃改修          |  | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 111 | 高林家住宅味噌倉及び米倉            |           | M19頃/T頃改修           |  | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 112 | 高林家住宅地の神社               |           | M39頃                |  | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 113 | 高林家住宅平常門及び塀             |           | S8頃                 |  | 工作物 | 住宅   | 1 |
| 114 | 高林家住宅平門及び塀              |           | S8頃                 |  | 工作物 | 住宅   | 1 |
| 115 | 高林家住宅内塀                 |           | S8頃                 |  | 工作物 | 住宅   | 1 |
| 116 | 高林家住宅外塀                 | S初期       | 工作物                 | 住宅   | 1   |      |   |
| 117 | 旧岸邸                     | 静岡県御殿場市   | S44/H20改修           | 東名高速道路路御殿場インター近くに構える元首相岸信介(のぶすけ)の本邸。全体を「日本的<br>コテージ風」でまとめた洗練された戦後の和風建築。吉田五十八(よしだいそや)晩年の代表<br>作の一つ。   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 118 | 道徳公園クジラ池噴水              | 愛知県名古屋市   | S2/同16改修            | 昭和初期の土地区画整理で開かれた道徳地区にある公園施設。造形家後藤鯨五郎(くわごろう)<br>制作の鯨の噴水設備を中心にして石と擬木で池の護岸を巡らす。戦前から永く地域で愛され<br>る。   | 工作物 | 生活関連 | 1 |
| 119 | 瑞芳院本堂及び庫裡               | 愛知県一宮市    | 文化10(1813)/T4移築     | 濃尾地震被害からの復興に際し妙興寺から移築した方丈形式の本堂。切妻造り棧瓦葺きで妻<br>飾りを木連格子と懸魚とし、四周に下屋を廻らす。市街地に歴史的景観を伝える。   | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 120 | 星出館主屋                   | 三重県伊勢市    | S2                  | 勢田川水運で栄えた河崎の八間道路に西面する二階建ての旅館。入母屋造り棧瓦葺きの大屋<br>根で、唐破風玄関を設けて賑やかな外観とする。塀は漆喰壁に楡形下地窓を開き、腰は堅板<br>張りとする。近代の伊勢詣の文化を伝える。   | 建築物 | 産業3次 | 2 |
| 121 | 星出館塀                    |           | S2頃/H30改修           |  | 工作物 | 産業3次 | 2 |
| 122 | 旧北村医院(李軒邸)主屋            | 滋賀県長浜市    | 文政10(1827)          | 長浜市街から東方の農村集落に位置。北村家は江戸後期から明治にかけて活躍した医者の家<br>柄。診療棟など関連施設が一連で残り、地域医療の歴史を物語る。南北に長い敷地中央北寄り<br>に主屋が建ち、主屋の北に東から東病棟、東病棟便所、西病棟及び土蔵を配し、南に井戸屋<br>形、表門、離れ座敷(待合棟)、敷地南端に車庫が位置する。主屋は、二階建て切妻造り棧瓦<br>葺き、正面中央に処置室を張り出し、診療棟と接続。西端二間を書院座敷とし文人の書画で飾<br>る。近世から続く医家の主屋として貴重。西病棟は二階建て、切妻造り棧瓦葺きで近代以前<br>の様相を伝える希少な医院建築。東病棟や診療棟とともに地域医療の歴史を伝える。土蔵は土蔵<br>造り二階建て、切妻造り棧瓦葺きで置屋根の梁先に絵様繰形(えようくりがた)を施し、医師宅<br>の格式を備える。表門は薬医門で板唐戸の扉には八双金具等を付け、医師宅の表構えに相応<br>しい。このほか井戸屋形や車庫などを含め、医家の建物構成を残す。  | 建築物 | 文化福祉 | 1 |
| 123 | 旧北村医院(李軒邸)診療棟           |           | T後期                 |  | 建築物 | 文化福祉 | 1 |
| 124 | 旧北村医院(李軒邸)離れ座敷<br>(待合棟) |           | 慶応4(1868)/T後期改<br>修 |  | 建築物 | 文化福祉 | 1 |
| 125 | 旧北村医院(李軒邸)西病棟           |           | M前期                 |  | 建築物 | 文化福祉 | 1 |
| 126 | 旧北村医院(李軒邸)東病棟           |           | S前期                 |  | 建築物 | 文化福祉 | 1 |
| 127 | 旧北村医院(李軒邸)東病棟便<br>所     |           | S前期                 |  | 建築物 | 文化福祉 | 1 |
| 128 | 旧北村医院(李軒邸)土蔵            |           | E後期                 |  | 建築物 | 文化福祉 | 1 |
| 129 | 旧北村医院(李軒邸)井戸屋形          |           | T後期                 |  | 工作物 | 文化福祉 | 1 |
| 130 | 旧北村医院(李軒邸)表門            |           | 元治2(1865)           |  | 工作物 | 文化福祉 | 1 |
| 131 | 旧北村医院(李軒邸)車庫            |           | T後期                 |  | 建築物 | 文化福祉 | 1 |

| No  | 名称                     | 所在地      | 建設年代                | 特徴など  | 種別  | 基準   |   |
|-----|------------------------|----------|---------------------|---|-----|------|---|
| 132 | 観音正寺書院                 | 滋賀県近江八幡市 | 寛政8(1796)           | 織山(きぬがさやま)東麓中腹に所在する天台宗寺院。近世は西国三十三所の霊場としても栄える。南北に長い境内中央に北から地藏堂、護摩堂、礼堂、手水舎、書院庭門、書院、書院庭門が並んで西面し、南端に鐘堂が位置する。書院は入母屋造り棧瓦葺きで正面北寄りに唐破風玄関を構える。江戸後期の姿をよく留め、山岳大寺院の格式を示す。地藏堂は二間四方宝形造り棧瓦葺き。巡礼寺院の様相を伝える仏堂。護摩堂は三間四方、正面入母屋造り背面切妻造り棧瓦葺きで向拝が付く。安永建立の元三大師堂の部材を再用して建立した近代の仏堂。礼堂は切妻造り棧瓦葺き平入り、組物は絵様付大斗肘木。もとは三十三観音を祀り、巡礼寺院における特徴的な仏堂。鐘堂、手水舎、書院庭門も残り、明治から昭和に整備された堂宇が建ち並ぶ古刹の伽藍を形成する。 | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 133 | 観音正寺地藏堂                |          | M14                 |   | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 134 | 観音正寺護摩堂                |          | S3                  |   | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 135 | 観音正寺礼堂                 |          | S3                  |   | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 136 | 観音正寺鐘堂                 |          | S3                  |   | 工作物 | 宗教   | 1 |
| 137 | 観音正寺手水舎                |          | S3頃                 |   | 工作物 | 宗教   | 1 |
| 138 | 観音正寺書院庭門               |          | 天保15(1844)          |   | 工作物 | 宗教   | 1 |
| 139 | 沙沙貴神社旧源照殿(霜楓園(そうふうえん)) | 滋賀県近江八幡市 | T8/S37頃移築           | 東廻廊外側に位置する祭儀控え室の座敷棟。入母屋造り棧瓦葺き。北から八畳と六畳、南に三畳と四畳半を東西に並べ、北東に矩折れに縁を廻す。格調高い近代和風建築。   | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 140 | 山本家住宅主屋                | 滋賀県米原市   | S13                 | 旧中山道沿いに前庭を配し南面する住宅。切妻造り平入り棧瓦葺き。玄関は吹抜の土間で、内装をハーフティンバーとし暖炉を設えて洋風とした近代の住宅。   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 141 | 旧梶井宮御門                 | 京都府京都市   | 元禄16(1703)/S10・R元移築 | 梶井宮門跡家から三井家油小路邸に移築された薬医門。木太い角柱で、冠木上に梁を四本架け、糞東に花肘木の三斗で棟を支える。門跡邸宅らしい華やかな意匠。   | 工作物 | 住宅   | 2 |
| 142 | 知恩院阿弥陀堂                | 京都府京都市   | M43                 | 東山に位置する浄土宗本山。中心伽藍の南西、御影堂の西に阿弥陀堂が建ち、北縁に渡り廊下が取付き、御影堂南東の高台に納骨堂が建つ。阿弥陀堂は入母屋造り本瓦葺きで裳階に向拝三間がつく。設計木子清敬(きよよし)、棟梁市田重郎兵衛。近世の伝統を引く近代仏堂の好例。渡り廊下は本瓦葺き屋根を照り起りとし両端を唐破風に造り、壮大な堂宇の間を繋ぐ。納骨堂は方一間の裳階付で、宝形造りの本瓦葺き。四手先組物で軽快な軒を受ける。設計は阪谷良之進。古典理解に基づく造形は近代仏堂の佳品。  | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 143 | 知恩院阿弥陀堂渡廊下             |          | M43/S40頃改修          |   | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 144 | 知恩院納骨堂                 |          | S5                  |   | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 145 | 大阪府庁舎本館                | 大阪府大阪市   | T15/H30改修           | 鉄筋コンクリート造地上六階地下一階建ての庁舎。玄関ホールは大理石張りの三層吹抜に柱が林立し、見応えがある。正庁や議場も装飾豊潤。セセッションを取入れた戦前最大規模の庁舎。   | 建築物 | 官公庁舎 | 2 |
| 146 | 井池(どぶいけ)繊維会館           | 大阪府大阪市   | T11/S30以降改修         | 鉄筋コンクリート造地上三階地下一階建てのテナントビル。外壁の二、三階はタイル張り、隅を几帳面状に丸め深い軒下にデンティルを廻し窓間に装飾を付す。船場発展の歴史を今に伝える。  | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 147 | 大阪農林会館ビル               | 大阪府大阪市   | S5/同24以降改修          | 鉄筋コンクリート造地上五階地下一階建、外壁は一階石張、二階以上タイル張り。内部は階段室やメールシュート、金庫室等に往時の意匠を見る。改変少なく地域景観に寄与。   | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 148 | 原田産業大阪本社ビル             | 大阪府大阪市   | S3/同40改修            | 南船場の中心部に建つ鉄筋コンクリート造二階建ての商社本社ビル。古典様式を大胆にアレンジした特徴的な外観は石張とモルタル洗出し仕上げ。小規模だが豊かな空間構成の近代ビル建築。  | 建築物 | 産業3次 | 2 |
| 149 | フジカワビル                 | 大阪府大阪市   | S28/同44・H28改修       | 堺筋に西面して建つ鉄筋コンクリート造地上五階地下一階建てのオフィスビル。二～四階正面を内窓付ガラスブロック積とし、両脇に小バルコニーを設けて陰影を演出。都市部の景観に寄与。  | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 150 | 小倉家住宅洋館                | 大阪府堺市    | S7                  | 堺市西部の浜寺住宅地に建つ洋館。L字形平面で一階は北西の玄関から階段室を兼ねた広間を通り、南の応接室に至る。玄関アーチや二階窓に意匠を凝らしたスパニッシュスタイルで上質。門は敷地東辺に建つ鉄筋コンクリート造で両脇に袖壁を付し、本柱と袖柱は緑色のタイル貼りで、和洋折衷の意匠。   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 151 | 小倉家住宅門                 |          | S7                  |   | 工作物 | 住宅   | 2 |

| No  | 名称          | 所在地        | 建設年代                 | 特徴など  | 種別  | 基準   |   |
|-----|-------------|------------|----------------------|---|-----|------|---|
| 152 | 小野家住宅店舗兼主屋  | 大阪府枚方市     | E末期/S前期・同41改修        | 枚方宿(ひらかたしゅく)の旧京街道に位置。小野家は江戸時代は醤油屋を営み庄屋を務めた旧家。主屋は切妻造り棧瓦葺き平入り、つし二階建て。揚げ見世(みせ)や半部(はじとみ)等がよく残る。離れは主屋の背面側に中庭を挟んで建つ木造平屋建て。土蔵は敷地南辺中央に建つ切妻造り棧瓦葺き。旧街道の景観を形成する。   | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 153 | 小野家住宅離れ     |            | E末期/H25改修            |   | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 154 | 小野家住宅道具蔵    |            | E末期/S35頃改修           |   | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 155 | 旧八木家住宅主屋    | 兵庫県姫路市     | E末期/M前期増築、S35頃・H31改修 | 揖保川(いぼがわ)下流左岸の集落に位置。八木家は下余部(しもあまるべ)村の庄屋を務めた旧家。現在、認定こども園として活用。敷地中央に主屋が南面し、主屋の北に米蔵、座敷蔵、内蔵が建ち、主屋の南に道に面して長屋門を配す。主屋は、木造平屋建て、入母屋造りで、西北に二階建ての奥座敷を付す。集落景観の中核をなす。米蔵は土蔵造り二階建て、切妻造り本瓦葺き。年貢米の収蔵庫でかつて水運が発達していた旧水路沿いの集落景観を今に伝える。蔵座敷は土蔵造り二階建て、西を入母屋造りの座敷、東を切妻造りの土蔵とし、一体で本瓦葺きとする。座敷は藩吏(はんり)接待用書院座敷。内蔵は土蔵造り二階建て、切妻造り本瓦葺きで、主屋裏庭の屋敷景観を形成する家財蔵。長屋門は入母屋造り本瓦葺きで中央西寄りに潜戸付きの門口を開き、東に脇塀が延び、旧家の表構を格式高く演出。 | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 156 | 旧八木家住宅米蔵    |            | E末期                  |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 157 | 旧八木家住宅蔵座敷   |            | E末期                  |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 158 | 旧八木家住宅内蔵    |            | 弘化3(1846)            |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 159 | 旧八木家住宅長屋門   | E末期/S30頃改修 | 建築物                  | 住宅  | 1   |      |   |
| 160 | 鷹津家住宅主屋     | 兵庫県姫路市     | M27頃/M40増築           | 姫路市の御国野町(みくにのちょう)に位置。鷹津家は代々医師を務める旧家。敷地中央に主屋が南面し、北西に道に面して道具蔵、厨(くりや)及び井戸場を配す。表門及びび塀が敷地西辺に建ち、庭門及びび塀が主屋座敷庭西辺を区切る。主屋は二階建て入母屋造り本瓦葺きで、正面に社寺風意匠の唐破風玄関、四周に下屋、西側に落棟の旧診療所を付す。医家の格調高い外観と上質な細部意匠を見せる。厨及び井戸場は平屋建てL字形平面の切妻造り棧瓦葺き、東西棟の厨と南北棟の井戸場からなる。集落の街路景観を形成する。道具蔵は二階建て、切妻造り本瓦葺き。街路景観を形成すると共に内向きの意匠を凝らす。表門は棟門(むなもん)で、庭門及びび塀とともに旧家の屋敷構えを格式高く整える。   | 建築物 | 文化施設 | 1 |
| 161 | 鷹津家住宅厨及び井戸場 |            | M中期                  |   | 建築物 | 文化施設 | 1 |
| 162 | 鷹津家住宅道具蔵    |            | M前期                  |   | 建築物 | 文化施設 | 1 |
| 163 | 鷹津家住宅表門及びび塀 |            | M中期                  |   | 工作物 | 文化施設 | 1 |
| 164 | 鷹津家住宅庭門及びび塀 |            | M40頃                 |   | 工作物 | 文化施設 | 1 |
| 165 | 中門前屋主屋      | 兵庫県宍粟市     | 嘉永4(1851)/R元改修       | 城下町山崎の通りに南面する商家主屋。正面は下屋を付し戸口両脇を出格子構え、二階は窓三箇所平格子を入れる。規模が大きく軒裏まで漆喰塗りで仕上げ重厚にみせる町家。   | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 166 | 中谷家住宅主屋     | 奈良県奈良市     | M35頃/H30改修           | 奈良町に所在し、前庭を挟んで北面する住宅。平屋建て切妻造り平入り棧瓦葺き。東に土間を通して上部を吹抜けとし、西に居室を配す。奈良町に残る良質な近代住宅。  | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 167 | 南家住宅主屋      | 奈良県御所市     | E後期/M45・S40頃改修       | 奈良盆地南端の旧池之内(いけのうちの)村に所在。南家は薬種商(やくしゅしょう)を営み、庄屋を務めた。敷地北寄りに主屋が北面し、南に別座敷と道具蔵が位置し、北に道に面して門屋及び庭門と木塀が建つ。主屋は南北に下屋を付し、東に落棟を配した大和棟。奈良盆地の豪農屋敷の中核をなす。別棟座敷は平屋建て切妻造り棧瓦葺きの本格的な別座敷。道具蔵は切妻造り棧瓦葺きで敷地東辺の景観をつくる。門屋は旧家の表構えをつくる風格ある長屋門で、その西に長く続く木塀とともに敷地北面の景観をつくる。  | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 168 | 南家住宅別座敷     |            | E末期                  |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 169 | 南家住宅道具蔵     |            | E末期/S45頃改修           |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 170 | 南家住宅門屋及びび庭門 |            | T元                   |   | 工作物 | 住宅   | 1 |
| 171 | 南家住宅木塀      | T元         | 工作物                  | 住宅  | 1   |      |   |
| 172 | 大前屋旅館       | 和歌山県新宮市    | M36/S48改修            | 三輪崎(みわさき)港の通りに北面する近代和風旅館。二階建て入母屋造り棧瓦葺きで庇を付す。二階の建ちが高く、各室に縁や出窓を設け、海や通りへの眺望を確保する。  | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 173 | 津中家住宅主屋     | 鳥取県鳥取市     | M37/S18改修            | 城下町鹿野(しかの)の西側に位置する町家で鹿野祭の御旅所。通りに南面する二階建て切妻造り棧瓦葺き。正面下屋は屈曲した腕木で軒を支え、地域色を示す。   | 建築物 | 住宅   | 1 |

| No  | 名称                | 所在地    | 建設年代             | 特徴など  | 種別  | 基準   |   |
|-----|-------------------|--------|------------------|---|-----|------|---|
| 174 | 判屋船越家住宅主屋         | 鳥取県米子市 | M後期              | 米子城の外堀を兼ねる加茂川(かもがわ)に北面する船問屋。南北に長い敷地の北辺に通りに面して主屋を建て、南辺の東蔵と西蔵の間に裏門を開く。主屋は切妻造り平入り棧瓦葺き、東を土間、西を一系列四室とし、ナカノマ上部を吹抜とする。西に前庭を設けた一系列三室の座敷を落棟で接続する。旧米子城下に残る良質な近代町家。東蔵及び西蔵はいずれも土蔵造り二階建て、切妻造り妻入り棧瓦葺き。外壁は軒裏まで塗込め漆喰塗仕上とし、裏門とともに敷地外郭の景観をつくる。  | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 175 | 判屋船越家住宅東蔵         |        | E末期              |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 176 | 判屋船越家住宅西蔵         |        | M後期              |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 177 | 判屋船越家住宅裏門         |        | M後期              |   | 工作物 | 住宅   | 1 |
| 178 | 旧濱中屋船宿(福間館別館)     | 島根県松江市 | M44              | 美保関東端の通りに南面する船宿。二階建て切妻造り棧瓦葺きで軒は出桁造。出桁や木鼻付持送梁などに美保関の町家の特徴を示す。二階座敷から湾を眺望する。   | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 179 | 三代家住宅主屋           | 島根県松江市 | 文久2(1862)／S5改修   | 美保神社東方、青石畳通りに位置する町家。二階建て切妻造り棧瓦葺き。玄関両脇に格子、軒は一、二階とも木鼻付持送で出桁を受ける。歴史的な街路景観をつくる。   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 180 | 蔵珠院茶室             | 徳島県徳島市 | E末期／H26移築        | 吉野川右岸の平野に位置する真言宗寺院の茶室。茶室二室と水屋、控室からなる寄棟及び切妻造りの棟と、上の間の切妻造り棟が棟方向を違えて接続。細部まで意匠を凝らした上質な茶室。まい込み泉は本堂前方に位置する播鉢状の掘り込みに螺旋状の通路を設ける。地元に親しまれる類例稀な井戸。   | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 181 | 蔵珠院まい込み泉          |        | E末期／S50頃・R2改修    |   | 工作物 | 宗教   | 3 |
| 182 | 有宮神社本殿            | 徳島県三好市 | M41／S41・H2・同15改修 | 大歩危(おおぼけ)峡右岸の山中、旧街道沿いの尾根上に位置。一間社流造り銅板葺き。隅行に建つ脇障子(わきしょうじ)、木鼻、墓股(かえるまた)等、彫刻で飾った、華やかな社殿。   | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 183 | 男木島灯台             | 香川県高松市 | M28              | 高松港の北に浮かぶ男木島の北端、備讃瀬戸(びさんせと)を望む海岸に位置。敷地北端に海に面して灯台を建て、南に旧退息所及び旧倉庫を並べ、西に表門及び塀を配し、敷地北辺に石垣が巡る。灯台は高さ14メートルの円筒形で長方形平面の附属舎とともに庵治石(あじいし)の石造とし、石目地を生かした無塗装とする。瀬戸内の難所を護る邦人技術者による近代灯台。旧退息所は、煉瓦造平屋建て、寄棟造り棧瓦葺きで旧倉庫とともに灯台施設群を構成。表門はコンクリート造モルタル塗りの角柱一対で、頂部を低い四角錐とする。両脇に塀を附属。石垣は緩やかにカーブし、庵治石で勾配を付けた谷積とする。風波に耐えてきた優れた施工で、灯台と共に海側の景観をつくる。  | 工作物 | 交通   | 2 |
| 184 | 男木島灯台旧退息所(たいそくしょ) |        | M28／H5改修         |   | 建築物 | 交通   | 1 |
| 185 | 男木島灯台旧倉庫          |        | M28／H5改修         |   | 建築物 | 交通   | 1 |
| 186 | 男木島灯台表門及び塀        |        | 表門:T8、塀:M28      |   | 工作物 | 交通   | 1 |
| 187 | 男木島灯台石垣           |        | M28              |   | 工作物 | 交通   | 1 |
| 188 | 鳥取家住宅主屋           | 香川県三豊市 | M前期／S中期・H7改修     | 三豊平野の旧笠田(かさだ)村に位置。鳥取家は代々笠田村の村長を輩出した旧家。南北に長い敷地中央に南面して主屋を建て、その西側の北半に米蔵等の附属屋、南半に裏座敷や新座敷を並べ、敷地東辺に東納屋、西辺に温室を置く。主屋と新座敷の間に東門を開き、裏座敷の西庭南辺に西門を開く。主屋は寄棟造り鉄板葺き平入りで、四周に下屋を廻らし瓦葺きとし、地方色をよく示す屋根形式。座敷棟は二階建て北に八畳、西に洋館を付属し、細部意匠も上質な洋館付近代和風住宅。風呂場棟の三畳の休息の間は凝った床構えで意匠が充実。裏座敷は寄棟造り棧瓦葺きで、造作丁寧な近代和風書院。土蔵は切妻造り棧瓦葺きで、大棟両端は鬼瓦上に帆立瓦を飾る。米蔵は平屋建ての寄棟造り棧瓦葺きで垂木は隅扇(すみおうぎ)とし、構法が特徴的。比屋は家族の若者用寝所で、住習慣の地方性を示す。敷地には西納屋、東納屋とともに温室などの建物が残り、東門や西門が旧家の風格ある屋敷構えを形成する。 | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 189 | 鳥取家住宅新座敷          |        | S前期／同後期・H8改修     |   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 190 | 鳥取家住宅風呂場棟         |        | S前期              |   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 191 | 鳥取家住宅裏座敷          |        | M後期              |   | 建築物 | 住宅   | 2 |
| 192 | 鳥取家住宅土蔵           |        | M39／H8改修         |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 193 | 鳥取家住宅米蔵           |        | M27／H7改修         |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 194 | 鳥取家住宅比屋(ひや)       |        | M後期／H22改修        |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 195 | 鳥取家住宅西納屋          |        | M後期              |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 196 | 鳥取家住宅東納屋          |        | M27／S前期増築、H8改修   |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 197 | 鳥取家住宅温室           |        | S前期／H19改修        |   | 建築物 | 住宅   | 1 |
| 198 | 鳥取家住宅東門           |        | S前期              |   | 工作物 | 住宅   | 1 |
| 199 | 鳥取家住宅西門           | S前期    | 工作物              | 住宅  | 1   |      |   |

| No  | 名称               | 所在地         | 建設年代                   | 特徴など   | 種別  | 基準   |   |
|---|------------------|-------------|------------------------|--|-----|------|---|
| 200   | 旧八木商店本店店舗        | 愛媛県今治市      | T7                     | 波止浜(はしはま)港の本町通りに位置。八木家はロシア貿易漁業から蟹工船で財をなした豪商。敷地東隅に道に面して店舗を建てて南に表塀を延ばし、主屋の西に座敷、住居棟、内蔵を配する。主屋の南方に離れを建て、主庭を臨む。店舗はつし二階建て入母屋造り棧瓦葺き。玄関土間浴いこー二畳、南に座敷二室を配し、いずれも良材を用いる。座敷は平屋建て入母屋造り棧瓦葺き。襖や板戸には大智勝観(おおちしょうかん)の日本画を描く。近代和風の好例。住居棟の座敷は赤松の床柱の床棚を備え、襖を布張りに菊文様、欄間透彫(すかしぼり)を菊とした、寛いだ空間をつくる。内蔵は土蔵造り二階建て、切妻造り本瓦葺き。東面の土戸片引の開口枠を花崗岩で精緻につくる。離れは平屋建てで切妻造り棧瓦葺き。L字形平面で西に続き間座敷、南に水屋付四畳半茶室を配置。庭からの点景をなす。表塀が店舗とともに豪商の表構えを形成する。 | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 201   | 旧八木商店本店座敷        |             | T7                     |  | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 202   | 旧八木商店本店住居棟       |             | T5                     |  | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 203   | 旧八木商店本店内蔵        |             | T7                     |  | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 204   | 旧八木商店本店離れ        |             | T7                     |  | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 205   | 旧八木商店本店表塀        |             | T7                     |  | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 206   | 旧二宮製材所事務所兼主屋     | 愛媛県喜多郡内子町   | S17/同40代改修             | 内子町東部の山間に位置。通りに東面する入母屋造り平入り棧瓦葺き。二階は建ちを押さえつつ四方に出桁で軒を出し、豪壮にみせる町家。  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 207   | 明光寺本堂            | 福岡県福岡市      | T13/H22改修              | 博多駅北東に位置する曹洞宗寺院。境内中央に本堂が建ち、北西に靈屋、西に禅堂を配す。本堂は、鉄筋コンクリート造、入母屋造り棧瓦葺き。細部まで施工精度の高い初期鉄筋コンクリート造の本堂。靈屋は鉄筋コンクリート造、入母屋造り棧瓦葺き。本堂と共に初期コンクリート造の様相を伝える。禅堂は入母屋造り棧瓦葺き妻入りで、正面に向唐破風の向拝を付す。境内に残る貴重な江戸後期の禅堂。  | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 208   | 明光寺靈屋            |             | T15/S37頃改修             |  | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 209   | 明光寺禅堂            |             | E後期/M43移築、T5・S34頃改修    |  | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 210   | 梅林寺ティーハウス        | 福岡県久留米市     | S33/H20                | 筑後川左岸高台の寺院外苑に建つ茶店。鉄筋コンクリート造平屋建て。丸柱と壁柱で屋根スラブと一体化した大梁を支え、特殊な架構で軽快なデザインを実現した菊竹清訓初期作品。   | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 211   | 願正寺本堂            | 佐賀県佐賀市      | 元禄15(1702)/明和2(1765)改修 | 佐賀城跡北に位置する当地の中心的真宗寺院。境内中央に西寄りに本堂を建て、東側の中庭を囲うように貴賓室、大広間及び大玄関を配す。本堂の南東に鐘楼を建て、境内南辺に山門を開く。本堂は正面九間、奥行八間半、入母屋造り本瓦葺き。九州有数の規模と古さを持つ。貴賓室は切妻造り棧瓦葺き、簡素ながら上質な藩主御成間(おなりのま)と伝わる書院。大広間は南北に長大な平面を持ち、小屋組にキングポストラスを用い大空間を実現。大玄関は切妻造り棧瓦葺き。無柱の大空間が特徴。鐘楼は入母屋造り本瓦葺き。佐賀城下の時鐘として用いられたと伝わる。山門は四脚門(しきやくもん)で透彫(すかしぼり)や鈎金具(かざりかなぐ)など随所に浄土真宗寺院らしい華やかな装飾を見せる。  | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 212   | 願正寺貴賓室           |             | 18世紀前期                 |  | 建築物 | 宗教   | 2 |
| 213   | 願正寺大広間           |             | S9                     |  | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 214   | 願正寺大玄関           |             | S9                     |  | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 215   | 願正寺鐘楼            |             | 明和5(1768)              |  | 建築物 | 宗教   | 1 |
| 216   | 願正寺山門            |             | T前期                    |  | 工作物 | 宗教   | 2 |
| 217   | 旧枝梅(えだうめ)酒造店舗兼主屋 | 佐賀県佐賀市      | E末期/H30改修              | 旧長崎街道に南面する造り酒屋の町家。二階建ての寄棟造り棧瓦葺き平入りで背後に棟を延ばし、全体にコの字の屋根。佐賀特有のくど造の様相を伝え、建ちが低く全体に古式を残す。  | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 218   | 通潤酒造店舗及び主屋       | 熊本県上益城郡山都町  | M前期/S10代・同30代後半・H30改修  | 日向往還浜町宿に位置し通りに面する町家。寄棟造りの店舗背後に棟を直交させて主屋を接続し正面に妻を見せる。宿場最大規模の町家。   | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 219   | 旧宮崎農工銀行(宮崎県庁5号館) | 宮崎県宮崎市      | S元/R2移築                | 県庁舎本館の向かいに建つ旧宮崎農工銀行社屋。鉄筋コンクリート造二階建てで、外観は端正な意匠の銀行建築で、内部は吹抜にギャラリーを廻し、イオニア式の柱頭を飾る。  | 建築物 | 官公庁舎 | 2 |
| 220   | 旧山(さん)尋常高等小学校校舎  | 鹿児島県大島郡徳之島町 | S4                     | 徳之島北東部に位置。鉄筋コンクリート造二階建て。外観は隅の柱型を見せ、入口に庇を付し、壁面は等間隔に横目地を切る。島内現存最古の鉄筋コンクリート造学校建築。   | 建築物 | 学校   | 2 |
| <p>注</p> <p>建設年代: Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。</p> <p>種別: 土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。</p> <p>基準: 1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。</p> |                  |             |                        |  |     |      |   |